

令和4年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市武蔵浦和コミュニティセンター
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市南区別所7丁目20番1号</p> <p>②施設の設置目的 市民のコミュニティ活動のための施設</p> <p>③施設の概要 【開館】平成25年1月4日 【構造】鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造 地下1階 地上10階建のうち8・9階部分 【延床面積】1847.97㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員194名)、レクリエーションルーム(定員45名)</p>
(3)指定管理者	オーエンス・アイルグループ
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和2年度322,001千円、令和3年度319,000千円、令和4年度 337,675千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 128,088人(前年度109,495人) ・稼働率95.6%(前年度93.6%) ・利用率74.8%(前年度70.2%) <p>◇業務実施状況</p> <p>▶主催事業業務 昨年度は、コロナの影響で中止にした事業が数多くあったが、今年度は緩和対策もあり、計画通りの事業が開催できた。さいたま市民の日を記念事業とした「キッズ音楽会」「駅前寄席」を始め、3年ぶりの開催になった「埼玉学生5インチ鉄道模型乗車体験」や「親子で作るロボット教室」等々は、参加者の皆様へ大変印象深い事業となった。また、SDGsをテーマにしたオープニングから始まる「コミセンまつり」は、利用団体による舞台発表部門、作品展示部門等があり、大いに賑わいを見せた一大イベントになった。</p> <p>▶管理運営業務 本年度の利用状況は、昨年度と比べ、感染そのものの捉え方に対する変化に伴い、回復傾向に至った。そうした中、利用者へのサービス向上への取り組みとして、Wi-Fi環境の整備に着手し、並行してホームページの刷新を行ったことにより、利用者から高い評価をいただいた。また、経費面については、電力需給の逼迫により、相応な節電対策を実施した。利用者並びにサウスピーア各施設の協力もあり、特に電気使用料については、前年対比△5%を実現した。</p> <p>②維持管理業務の状況</p> <p>▶保守点検業務の実施 設備機器保守点検年間計画に基づき業務を実施した。また、経年劣化に伴う駐輪場精算機、ホール反響板・入口扉、ピアノ鍵盤、排煙窓開閉装置等、利用者への使い勝手を考慮に入れ、小規模修繕を実施した。</p> <p>▶警備業務の実施 人的警備と機械警備を併用した職務マニュアルに沿って、定時定線巡回を基本とした保安警備業務を実践した。職員による施設巡回や利用者への積極的な「お声がけ」を徹底するとともに、公共エリアと執務エリアを明確に区分することで、利用者や公共物、現金、個人情報等で犯罪被害から守ることに務めた。</p> <p>▶清掃業務の実施 清掃マニュアルに基づき、朝昼夜間の3交代制で日々、施設内の迅速な清掃及び環境美化に務めた。</p> <p>③その他の業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー使用量削減に努めた。 ・コロナ感染拡大防止のため、昨年度より引続き職員全員で共用部の消毒業務に務めた。

(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化事業収入等 1,737千円 (前年度 1,384千円) ・指定管理料 337,675千円 (前年度 319,000千円) <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 162,597千円 (前年度 158,392千円) ・物件費(施設管理費・運営費) 171,049千円 (前年度 159,510千円) ・事業費 1,675千円 (前年度 1,874千円)
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<p>令和4年10月に「利用者満足度調査を実施した。(回答者414名) コロナ禍において部屋の利用率は低調ではあったが、総合評価で97.9%の高い評価をいただいた。毎年、予約の取りづらさを指摘するご意見をいただいているが、予約手続きの利便性の向上を図るため、ホームページの刷新を行い、並行してWi-Fi環境の整備等にも取り組んだ。時間のかかる作業を進め、細部に渡るまで利用客の要望に応えるための改善を図った。</p>
(8)その他	<p>①音楽室で演奏しているフォームをチェックしたいとの要望があるため、姿見を設置した。 ②コロナ禍、換気のため扇風機の貸出し要望が多いため、独自のものを出し、対応した。 ③経年劣化による駐輪場精算機の不具合が屢々発生し、改善要望もあり、入替えを実施した。 ④寄席等のホール主催事業では、フリー席としていたため、混雑を招き、苦情にも繋がることから、当日、席の抽選クジ対応を取入れ、参加者への利便性向上を図った。</p>

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	
主催事業への取組み	<p>令和4年度は、武蔵浦和コミュニティセンターが開設10周年を迎えることから、SDGsをテーマに掲げた一大イベントである「武蔵浦和コミセンまつり」を中心に、市民に根強い人気がある「駅前寄席」「武蔵浦和シネマ」「むさしうらわ鉄道まつり」他、年間56回の主催事業を展開した。また、「さいたま市民の日」記念事業として5/5のこどもの日に開催した「キッズ音楽会 音楽で世界一周」は、親子連れの参加者に大変好評だった。その他、新型コロナウイルスの影響で暫く開催を取り止めていた埼玉県立春日部工業高等学校との協力による「埼玉学生5インチ鉄道模型乗車体験」、及び「武蔵浦和クイズフェスタ」は、年代を超えた幅広い市民の皆様より非常に高い評価をいただいた。</p>
職員教育への取組み	<p>当施設は、帰宅困難者一時滞在施設に指定されていることから、本年度は、避難所運営ゲーム『HUG』を介しての防災訓練講習会を実施した。震災に対する備えの観点から、職員には大変有意義なものとなった。また、指定管理者より南区役所をはじめとするサウスポア各施設に協力をお願いし、各施設職員を対象にした、緊急時におけるAED取扱い普通救命講習を実施した。</p>
利用率向上への取組み	<p>コロナ禍、利用者へのリモート需要に応えるため、施設内にWi-Fi環境整備を施工した。セキュリティ上の課題もあり、一部の使用出来る部屋のみとした。並行して、ホームページを刷新し、より主催事業への参加を促す宣伝活動に改善を図った。また、予約システム、申請書類等、見易く分かり安い配置にして利用者への利便性を向上させた。</p>
経費縮減への取組み	<p>世界的なエネルギー高騰に伴う経費圧迫のため、特に電気、ガスの使用料抑制に努めた。建物内の空調管理、照明の見直しを大幅に行い、利用者の協力のもと、夏場のトイレ温便座をオフにする等のこまめな対策を実施した。結果、令和4年度前年対比実績で、電気使用量67,412kwh 約5.0%、ガス使用量12,273m³ 約10%の削減を実現した。</p>

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進については、運営方針における「生涯学習」「地域交流」「地域支援」を基に施設運営を円滑に行った。『市民の平等利用』は、公共施設予約システムの管理、多目的ホール抽選会他、主催事業ではSDGsの目標をテーマに掲げて展開し、公平公正な運営を図った。『市民サービスの向上』については、「利用者満足度調査」「主催事業実施アンケート報告」他、直接受付職員に寄せられる意見・要望等を基にした情報を共有し、よりサービス向上に繋げる項目を計画立案し、実践した。『利用促進』については、要望の多かったWi-Fi環境整備、ホームページの刷新を行い、コロナ禍で減少した利用状況の改善を図るものとした。

②経費の節減については、サウスピア各施設から省エネ推進員を選出し、削減目標を定め電気使用量の節減に努めた。また、並行して、省エネ巡回(消し忘れ・空調設定温度確認)、デマンド(契約電力管理)、共用部の空調時間調整、建物内外の照明時間管理、トイレ内便座温度調整等を行い、前年度より大きく使用量削減を実施した。

③適正な管理運営の確保については、サウスピアが令和4年度開設10周年を迎えたこともあり、市民に一層認識を深めていただくため、各施設協同で施設の取組み状況、紹介等を記念事業として行った。現在まで、大きなトラブルもなく利用者への安心安全を守れて来たことは、サウスピア指定管理者として、円滑に管理運営業務を行ってきた成果といえる。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:市民局市民生活部コミュニティ推進課)

総合評価 (B) ※A~D

(1) 市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進に関する取組

- ・ホームページのリニューアルを行い、効果的な広報に努めている。
- ・Wi-Fiスポットを整備し、施設の利便性向上に努めた。
- ・昨年度よりもアンケートの配布数を増やし、多くの市民の意見の把握に努めている。

(2) 経費削減に関する取組

- ・複合施設における節電について、目標数値を設定し、施設内の関係機関へ節電を呼び掛け、光熱水費削減に努めている。

(3) 適正な管理運営の確保に対する取組

- ・外部団体が主催する研修に積極的に受講し、業務への理解を深めることに努めている。
- ・帰宅困難者の受入れを考慮した避難所運営ゲーム(HUG)等、工夫した訓練を実施できている。
- ・個人情報保護マネジメントシステムのテストを職員に対して実施し、情報セキュリティに関する意識づけに努めている。
- ・利用者からの要望や提案は所定の様式で職員間で情報共有され、適切に対応できている。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、施設の適正な管理運営の確保及び市民サービスの向上に努めていただきたい。